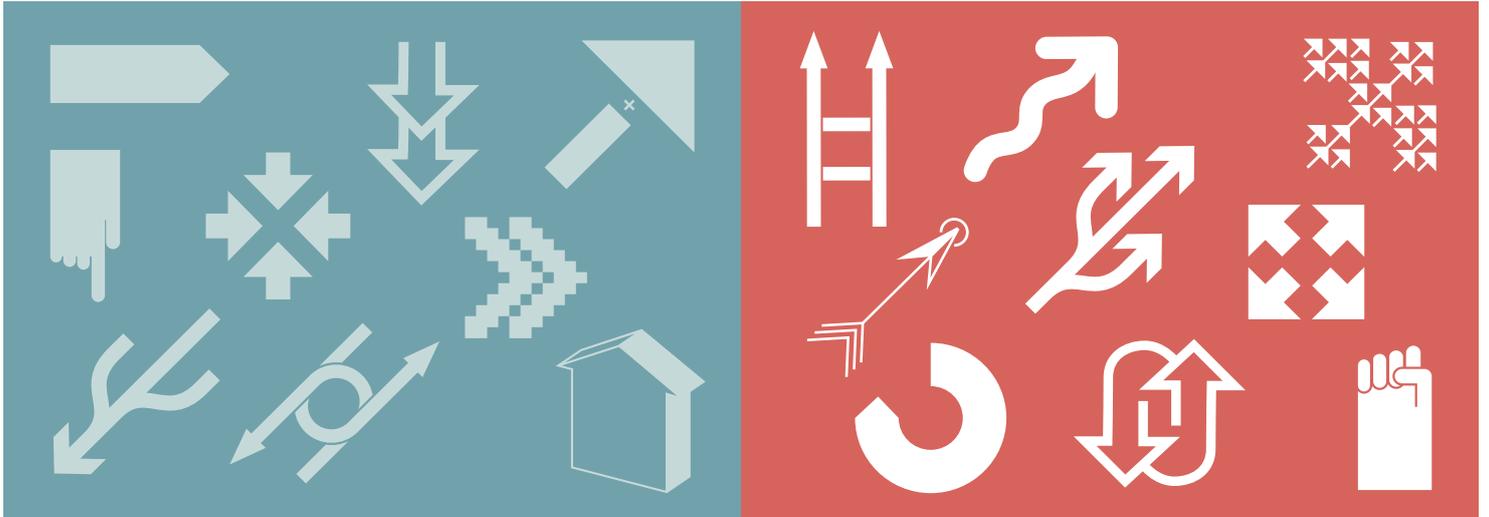


持続可能な未来へのトランジション

2021年6月7日
日立製作所 研究開発グループ



日時：6月22日（火） 10時00分～11時30分（日本時間）

形式：オンライン・フォーラム（Zoom ウェビナー）

・事前の参加登録で、どなたでも無料で参加可能です。

（参加登録はこちらから：https://va.apollon.nta.co.jp/hitachi_rd_transitions）

・日本語および英語でご視聴いただけます。

・定員になり次第締め切りとさせていただきますので、お早めにご登録ください。

気候危機、生物多様性危機、そしてコロナ危機をはじめとする状況は、社会、技術、ビジネスのあり方に、重大な問いかけをもたらしています。地球環境の衰退を前提とする近代のシステムを乗り越え、あらゆる分野で持続可能な社会への転換、すなわち「トランジション」を達成することが求められています。

本フォーラムでは、日立製作所と Takram が共同で行ったプロジェクト「サステナブルな未来へのトランジション」(Transitions to Sustainable Futures) を手がかりとして、現代世界の挑戦と日本の役割、社会変革のためのデザイン、そしてイノベーションの役割について対話をしながら、私たちが取り組むべきトランジションのすがたを議論します。



東京大学
未来ビジョン研究センター 教授
高村 ゆかり 氏



カーネギーメロン大学
トランジション研究所 所長
Terry Irwin 氏



Takram London
ディレクター、クリエイティブ・テクノロジスト
牛込 陽介 氏



日立製作所 研究開発グループ
技師長 / 環境プロジェクトリーダー
鈴木 朋子

1. オープニング

2. 持続可能な未来のためのトランジション

Takram ディレクター / 牛込陽介氏

日立製作所 研究開発グループ 主任研究員 / 佐々木剛二

3. パネルディスカッション & 質疑応答

東京大学 教授 / 高村ゆかり氏

カーネギーメロン大学 教授 / Terry Irwin 氏

日立製作所 研究開発グループ 技師長 / 鈴木朋子

スピーカー



東京大学 未来ビジョン研究センター 教授 高村 ゆかり 氏

島根県生まれ。専門は国際法学・環境法学。京都大学法学部卒業。一橋大学大学院法学研究科博士課程単位修得退学。龍谷大学教授、名古屋大学大学院教授、東京大学サステナビリティ学連携研究機構（IR3S）教授などを経て現職。

国際環境条約に関する法的問題、気候変動とエネルギーに関する法政策などを主な研究テーマとする。中央環境審議会会長、東京都環境審議会会長、再生可能エネルギー買取制度調達価格等算定委員会委員、日本学術会議会員、アジア開発銀行の気候変動と持続可能な発展に関する諮問グループの委員なども務める。今年3月、官邸に設置された気候変動対策推進のための有識者会議委員でもある。『環境規制の現代的展開』『気候変動政策のダイナミズム』『気候変動と国際協調』など編著書多数。



カーネギーメロン大学 トランジション研究所 所長 Terry Irwin 氏

カーネギーメロン大学トランジション・デザイン研究所所長。1986年から教鞭をとり、2009年から19年までは同大学のデザイン学部長を務めた。研究関心であるトランジション・デザインは、より持続可能な未来のための社会的転換を導くためのデザイン研究・実践の新たな領域である。Gideon Kossoff や Cameron Tonkinwise とともにトランジション・デザインを展開し、2014年にデザイン学部内にプログラムとカリキュラムを設置した。



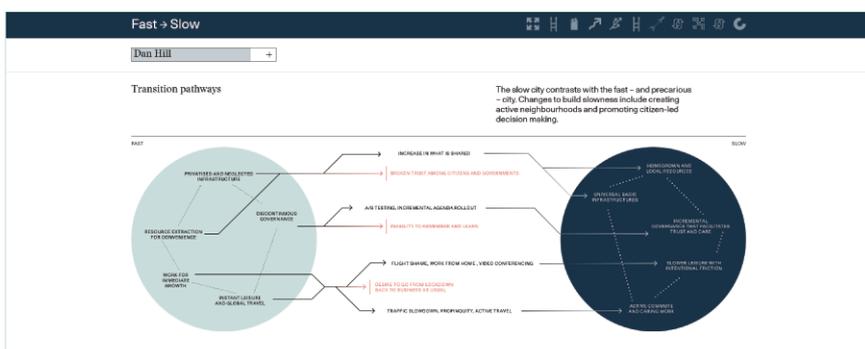
Takram London ディレクター / クリエイティブ・テクノロジスト 牛込 陽介 氏

新しいテクノロジーのもつ意味や可能性への理解を助け、未来についてより確かな意思決定を行っていくためのデザイン活動を行っている。テクノロジー・人・地球環境との間で起こる出来事に焦点を当てたプロジェクトに数多く携わりながら、リサーチや未来コンセプトの構築、プロトタイプを通じたビジョンの表現、インタラクションデザインなどに取り組んでいる。2013年 Royal College of Art (MA Design Interactions) 修了。



日立製作所 研究開発グループ 技師長 / 環境プロジェクトリーダー 鈴木 朋子

1992年日立研究所入社。入社以来、水素製造システム、廃棄物発電システム、バラスト水浄化システム等、一貫して脱炭素・高度循環・自然共生社会の実現に向けたシステム開発に従事。2018年からは、顧客課題を起点とした協創型事業開発において事業拡大シナリオを描くビジネスエンジニアリング領域を立ち上げ、現在は、社会課題を起点とした研究開発戦略の策定と事業化を推進する環境プロジェクトをリードする。



Transitions to Sustainable Futures
ウェブサイト URL
<https://sustainability-transitions.com/jp>